

らいてうの家 〒 386-2201 長野県上田市真田町長 1278-720 TEL fax : 0268-74-1385
NPO 平塚らいてうの会 〒 112-0002 東京都文京区小石川 5-10-20 5F TEL fax : 03-3818-8626

10月12日 第1回森のめぐみ講座

台風のため1日ずらして行ったのが効を奏し、青空の下、楽しく行う事ができました。駐車場のすぐ隣のツリバナが真っ赤な五角形の実を鈴なりにつけ、見事でした。

午前 庭の整備 15名参加

・庭の南側斜面は、ほぼ全面刈り取りました。1時間半汗をかくほど、一生懸命やりました。

午後 庭の植物観察会 17名参加

・「60年前の家の周りはどうだったのでしょうか？」その生き証人、の赤松の切り株が入口にあります。年輪62年以上、奥村博史が来た頃はこの木は幼木です。松は岩や草原にまず生える先駆植物です。ですから、ここが草原（牧場）であったことがわかります。

・道路の向かいにある白樺と家にある白樺の太さが違います。向かいの白樺は樹齢40年以上、家の木は15年以下。こんなに近くにあるのになぜでしょう。

それは40年前までスキー場のゲレンデになっていて、そのまま草原状態でした。白樺も、陽のあたる状態になれば種が休眠をやめ発芽する生



植物です。その時から生長したものでしょう。家の方は赤松が生長し、林となり、日陰だったので。家を建てる時にやっと光が当たって、その時から生長したのでしょうか。

・よく見てみよう！白樺3mmほどの種に左右に翼がしっかりついていて、風に乗れば遠くまで飛ぶことができます。

・ミズナラの実を見せて「この実は一体何の木から出来るでしょう。この庭にも、この実を落とす木があります、探して下さい」と「家」の庭にある木を調べました。

このあと閉館となったあずまや高原ホテルの方まで散策しました。



10月27日 大掃除と反省会 15名参加

らいてうの家創設以来初めての上田・真田地元会員だけの大掃除でした。手際よく分担し短時間で終わりました。

玄関内にあった木彫りのクマは蟻の巣になっていたので処分する。窓が動かない時はロウをレースに塗る。ベランダの物置に蜂が入ってくるので蜂対策をするなど、掃除をしながら話が出ました。

反省会では東京の方が来られなくても何とか出来たのが自信となった。DVD、FAX、ストーブなどの扱い方が出来るようになった。もっと地元の方で「家」を守ろうという気概をもとうという意見も出ました。高齢者が当番の時やイベントに参加したい時など「家」まで来る車の運転の問題が出されました。



来訪者の感想

- ・100年前のパンデミック、スペイン風邪に負けずに活動したらいてう。新婦人協会の運動には迫力を感じます。
 - ・リンとした姿。いろいろ教えられました。
 - ・四阿高原に来て、偶然にここに来ました。
 - ・憧れのらいてうの家に来ることができました。やっと、やっとです。女性たち 頑張ろうね。ボランティアの皆様の世界の平和を強く願い、日本の女性解放につくしたらいてうへの思いに感じ入りました。
 - ・木のぬくもりのあるらいてうさんのお家、とても楽しく 美味しいお弁当ありがとうございます
 - ・丁寧で親切な説明に感激しました。ゆっくり時間を取ってまた来たいと思っています。
- (星型短冊メッセージより)

- ・一度、伺いたいと思っていましたが、うまくタイミングが合わず 今日、かなえて良かったです。すぐく落ち着いた雰囲気建物の建物の中で、あの時代に女性の権利と自立の精神をこうした形で、打ち立てられたことに、改めて感動するとともに、シャキッとさせられました。「元始女性は太陽であった」の歌を聞かせて頂きありがとうございました。
- ・「元始女性は太陽であった。真正の人であった」と書いたらいてうと「男らしさとか女らしさがあるのではない。男としての人間らしさ、女としての人間らしさがあるのだ。」と著した宮本百合子のような女性が一人でも多く誕生することを願っています。
- ・素晴らしい時間を過ごさせていただきました。

自然と一体化した建物に感激しました。また、お邪魔させていただきました。

- ・一度来たいと思っていて、来れました！「失望しない」という価値に負けないう、「負けても負けない」。帰ったら、また、前を向いて歩きます。
- ・昨日の夕立のことを想うと神様がここまでの道を案内して下さったように思われました。米田館長様にはお会いできませんでしたが、理事のおふたりと色々なお話ができて大満足です。小田急線登戸から車で10分、女たち(29歳から31歳)4人で『母と子のフリースペース』を設立した頃の事を思い出しました。「平塚らいてう記念館」も女性達の出会場の場であるような気がします。今このコロナの時代に何か Message を送ってくださるような気がします。

上田市都市景観賞、建築賞を受賞したこの建築と環境に恵まれた土地に関わってこられた「らいてうの家」の皆様には頭が下がります。このコロナの時期に、だからこそ東京から大阪、九州から来られない女性たちの闘いを思うとZOOMでの情報発信、講演会などが継続できるようになることを祈っています。家のイベントが無事に開催できることは、今、難しいことかもしれませんが「私は永遠に失望しないでしょう」が、私たちにとっての指針となり得そうな気が致します。この場にいらっしゃれる方も来られない方もこの「平塚らいてうの家」の存在が大きな支えになることを願っています。

(感想文ノートより)